

第 2 版 2019年9月20日作成
1996年4月1日～2017年12月31日の間に当科で甲状腺癌の診断・治療
を受けられた方へ

- 「甲状腺癌におけるCDK4発現の検討」へのご協力をお願い -

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	特任教授	田中克浩
研究分担者	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	講師	小池良和
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	大学院生	齋藤 互
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	大学院生	岸野瑛美
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	臨床助教	三上剛司

1. 研究の概要

甲状腺分化癌(乳頭癌と濾胞癌)と未分化癌による CDK4 という細胞内因子を免疫染色によって、発現があるのかどうかおよび発現状況の差について検討します。さらに発現状況と臨床データとの相関についての検討を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

1996年4月1日～2017年12月31日の間に当科で甲状腺癌の診断・治療を受けられた方の中で手術治療による組織採取が確実な未分化癌約20例と分化癌のうち当院に定期で通院していた患者さんを約30例任意に抽出して検討します。

2) 研究期間

2018年8月28日～2020年3月31日

3) 研究方法

1996年4月1日～2017年12月31日の間に当科で甲状腺癌の診断・治療を受けられた方の中で手術治療による組織採取が確実な未分化癌患者さん約20例と分化癌のうち当院に定期で通院していた患者さん約30例の手術治療の際の摘出標本を用いてCDK4という細胞内因子を免疫染色によって、発現があるのかどうかおよび発現状況の差について検討します。さらに発現状況と臨床データとの相関についての検討を試みます。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、進行度、pTNM分類、pEX, 腫瘍径、採血でTSH, FT4, サイログロブリン測定値

試料：手術時の摘出した組織

5) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学乳腺甲状腺外科教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2019年12月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

病 院 名 : 川崎医科大学附属病院乳腺甲状腺外科
病院所在地 : 〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577
病院電話番号 : 086-462-1111 (内線 26201、平日 13:00-17:00)
研究責任者 : 川崎医科大学 乳腺甲状腺外科学 特任教授 田中 克浩

3. 資金と利益相反

利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含むものです。本研究は資金を必要としていません。このことを利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。